

第3回 都心三宮再整備推進会議

会議録

平成30年3月30日

第3回 都心三宮再整備推進会議

1. 日時 平成30年3月30日(金) 9:30~11:00

2. 場所 神戸市勤労会館7階 大ホール

3. 出席者 委員33名、オブザーバー3名(敬称略)

・地元組織代表

浅木隆子	小田俱義
久野茂樹	清水俊博
谷澤 広	永田耕一
原田比呂志	古川 勝
松岡辰弥	三浦繁男
森本真弥	松下秀司(代理:岡田)

・市民代表

岩佐光一朗	玉田はる代(代理:森田)
-------	--------------

・交通事業者代表

奥野雅弘	中村 聡
野々下 恵介	早川泰正(代理:金田)
原田 大(代理:山本)	長尾 真
吉川紀興	

・経済界

植村武雄	松田茂樹
南 嘉邦(代理:高島)	

・学識経験者

小谷通泰	加藤 恵正
末包伸吾	

・行政機関

太田裕之	山田雅義
高宮 進(代理:村田)	安江 亮
成岡英彦(代理:登日)	出野上 聡

・オブザーバー

阪本浩之	小出一真(代理:堀江)
内田慶人(代理:熊本)	

4. 次 第

1. 開会

2. 議事

(1) 神戸三宮「えき~まち空間」基本計画について

(2) 新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5・6丁目再整備基本計画について

【意見交換】

(3) その他

- ・ 都心・三宮の再整備 最近の動きについて【報告】
- ・ 新中央区総合庁舎の基本設計等について【報告】
- ・ 新しい神戸文化ホールの整備に向けた基本計画の策定について【報告】
- ・ 本庁舎2号館再整備基本構想について【報告】

3. 閉会

1. 開 会

○都心三宮再整備担当部長

皆様、おはようございます。本日はお忙しい中、御参集いただきありがとうございます。
開会に先立ちまして、委員の皆様にご確認させていただきたいと思っております。本日は報道機関より、会議風景を撮影したい旨の申し入れがございましたので、議事に入るまでということで許可いたしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

○都心三宮再整備担当部長

御異議がないようでございますので、撮影を許可することといたします。
報道機関の方は、議事に入るまで撮影をしていただいて結構です。
ただいまより、第3回都心三宮再整備推進会議を開催させていただきます。
私は、住宅都市局計画部都心三宮再整備担当部長の手塚と申します。よろしくお願いたします。事務局として進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いたします。
それでは、開会に当たりまして、神戸市住宅都市局長の岩橋より御挨拶を申し上げます。

○住宅都市局長

皆様、おはようございます。本日は本当に年度末の押し迫ったときに、大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

本日は、昨年12月から本年2月まで実施いたしました、神戸三宮「えき~まち空間」基本計画案及び、新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5・6丁目再整備基本計画案に関する市民意見募集の結果と、基本計画の策定について御説明させていただきます。

「えき~まち空間」につきましては、皆様からも御議論いただきまして、平成29年11月27日に開催いたしました前回のこの会議において基本計画案を公表し、関係者と協議調整を進めてまいりました。三宮周辺をより魅力的な空間としていくための重要な計画でございます。市民の皆様や御関係の皆様へ、より御理解をいただきやすいように表現内容の検討をもう少し詰めたいと考えてございまして、後日改めてお示しさせていただきたいと思っております。

新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた基本計画につきましては、意見募集や皆様よりいただきました御意見を踏まえて検討しまして、本日策定いたしました。これらの内容につきましては、後ほど詳しく御説明させていただきます。

三宮周辺を快適で利便性が高く新たなにぎわいが生まれる場として、神戸の玄関口にふさわしい空間となるように努めていきたいと考えております。

また市では、平成30年度から都心三宮再整備の体制を強化いたします。新たに都心再整備本部として事業の本格化に取り組んでいく形で考えてございます。

本日はどうぞ忌憚のない御意見を頂戴いたしますようお願い申し上げまして、簡単ではございますが開会の御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

○都心三宮再整備担当部長

ありがとうございました。

それではこれより会議を進めさせていただきますが、まずお手元の資料を確認いただきます。次第と会議資料につきましては事前に送付させていただいております。本日、資料をお忘れの方がいらっしゃいましたら係の者にお知らせください。よろしゅうございますか。

本日の配付資料は、委員等出欠表をお配りしております。また、本日、時間等の関係で御発言いただけなかった御意見を御記入いただく用紙も配付してございます。資料に不足があれば、係の者にお申し出ください。

続きまして、本日の出席者の御紹介ですが、時間の都合により、配付しております委員等の出欠表をもちまして御紹介にかえさせていただきます。

なお、本日少し修正がございますので御紹介させていただきます。行政機関の近畿地方整備局兵庫国道事務所所長の高宮様の代理人で森田様となっておりますが、村田様の御出席をいただいております。オブザーバーの葺合警察署の署長の内田様の代わりに鹿田様、その代理で熊本様に御出席いただいております。それから兵庫県生田警察署となっておりますが、本日は業務の関係で皆さん御欠席ということで連絡を受けてございます。よろしく願いいたします。

それでは報道機関による撮影はここで終了とさせていただきます。

本日の議事は3つございます。まず1番、神戸三宮「えき～まち空間」基本計画について。それから2番目、新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5・6丁目再整備基本計画について。3番目、その他といたしまして、都心・三宮の再整備最近の動きについて、新中央区総合庁舎の基本設計等について、新しい神戸文化ホールの整備に向けた基本計画の策定について、本庁舎2号館再整備基本構想についてとなっております。

大変申しわけございませんが、ここで岩橋局長は次の公務のため退席させていただきます。

(局長退席)

○都心三宮再整備担当部長

それでは、ここから加藤会長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。

2. 議 事

(1) 神戸三宮「えき~まち空間」基本計画について【意見交換】

(2) 新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5・6丁目再整備基本計画について【意見交換】

○会長

加藤でございます。おはようございます。

前回に引き続き、ぜひとも今日も活発な御意見をいただければと思います。ただ、時間が会場の都合で11時と限られておりますので、スムーズな議事進行に御協力をお願いしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

今日の議事は、先ほど手塚部長から御紹介のありましたとおりでありまして、「えき~まち空間」、中・長距離バスターミナル、この2つをまず最初にやっていただき、その後その他ということで時間をとって、新しい動きについて御紹介させていただきたいと思っております。

そうしましたら、まず議事1、2から、事務局より御説明よろしく願いいたします。

○都心交通担当課長

住宅都市局都心三宮再整備課都心交通担当課長の北田でございます。私から、お手元の資料2、神戸三宮「えき~まち空間」基本計画案に対する意見募集結果の概要について御説明をさせていただきます。

まず「えき~まち空間」基本計画につきましては、昨年11月27日の都心三宮再整備推進会議において（案）の御説明させていただき、その内容について意見をいただきました。またその後、地域の方あるいは関係者の方とも意見交換をさせていただいたところでございます。

昨年12月27日から2月9日まで市民意見募集をさせていただいております。意見の総数でございますが、合計335通。主な内容につきましては、まず、基本計画に関する意見の中で全般的なものとしまして、三宮クロススクエアのコンセプトは素晴らしい、またユニバーサルデザインへの対応をしっかりと行うことを明確にしてほしい、またエリアマネジメント組織を早期に立ち上げるべき、あるいは今後も意見を聞く機会を設けるべき、事業費や経済効果を示すべきなどをいただいております。

また、交通に係るものとしましては、自転車について詳しく書くべき、自動車交通の分析結果を示すべき、また、車で駅に近寄れなくなって不便になるといった御意見もお伺いしております。

また、景観につきましては、自由度を確保できる柔軟なデザインコードにしてほしい、あるいは景観規制を強化すべきといった御意見をいただいております。

そのほか都心三宮再整備全体に関する意見もいただいております。現状の課題を早

期に解決すべきである、神戸の活性化にぜひとも必要であるので早く実現をしてほしい、さらには巨大開発を進め三宮への一極集中を行う計画であるなど、本当に多岐にわたるさまざまな御意見をいただいたところでございます。

これら335通、各々に対する神戸市の考え方につきましては、昨日29日に神戸市のホームページにて神戸市の考え方を公表してございます。

今回、こうした市民意見、または地域や関係者からいただきました御意見などさまざまな御意見を踏まえて、基本計画の内容につきましては、よりわかりやすく、また御理解を得られるものとしていくために、引き続き内容について検討し、策定に向けて作業に取り組んでまいりたいと思っております。

少しお時間をいただきまして、できるだけ早い段階で、改めてこの推進会議の場などにおいて基本計画としてお示しをさせていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

簡単ですが、「えき～まち空間」基本計画についての御説明は以上でございます。

○事業推進担当課長

引き続きまして、新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5・6丁目再整備基本計画につきまして御説明させていただきます、事業推進担当課長の鷲尾と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それではまず資料3-1をご覧ください。基本計画案に対する意見募集の結果の概要でございます。バスターミナルの基本計画案につきましても、平成29年12月27日から約1カ月間、市民の皆様から意見募集を行い、417通の御意見をいただきました。その中から主な意見を4つの項目に分けて御紹介させていただきますと、まず、基本計画全体に関する意見としまして、スピード感のある整備を望む、このようなバスターミナルが1日でも早く完成することが、阪神大震災の中央区民の復興宣言になるといった御意見をいただきました。

またバス乗降場に関する意見としましては、三宮駅周辺にあるバス乗降場を集約化することは、旅行者等の非日常の利用者のみならず、通勤・通学の日常の利用者の視点からも望ましい。周辺の駅から新バスターミナルへの歩行者アクセスについて、スーツケースを持ってもスムーズに移動が可能となるようにしてほしい。また、利用客の需要予測はシビアに査定して規模を確定すべきといった御意見をいただきました。

再整備ビルに関する意見としましては、単なる商業施設だけではなく、ホールや図書館など文化的な空間を整備していただき、神戸らしいセンスのある駅前にしてほしい。神戸市民も市外の人も外国人も楽しめる活気のあるビルになることを期待するといった御意見をいただきました。

最後に都心三宮再整備全体に関する意見としましては、20年遅れでようやく三宮の再整備がスタートし、市民として大いに期待している。三宮一極集中にならず、他の地域にも

バランスよく投資をしてほしいといった御意見をいただきました。

「えきまち空間」の計画と同じく、こちらにつきましても、それぞれの御意見に対しまして、市の考え方を昨日ホームページにて公表させていただいております。

これらの意見を参考にいたしまして、市として基本計画案に反映させまして、変更を加えた箇所をまとめましたのが資料3-2、全般の資料でございます。あわせて資料3-3がこの変更を反映させた基本計画となっておりますので、よろしければあわせてご覧いただければと思います。

それでは資料3-2に戻りまして、変更箇所について御説明をさせていただきます。こちらの表ですが、左から順に基本計画で該当するページの番号、その隣が変更内容、その隣が変更前の基本計画案の該当箇所の本文、一番右側が変更いたしました後の計画の本文の該当箇所、変更箇所を赤字で示したものでございます。

それでは主な変更箇所につきまして少しピックアップしながら御紹介させていただきます。まず1枚目、上から3番目でございます。海外の企業が神戸に拠点を置きたいとする意向が持てるようなもの、国際規格のブランド、シティホテルの誘致などといった御意見をいただきましたので、これを踏まえまして、一番右の欄でございますように計画5ページにおきまして記載をしております。内容としては、特定都市再生緊急整備地域に含まれ、都市の国際競争力強化を図る拠点としての役割が期待されているという旨を加えまして、国際的な視点について取り組んでいくという記載の充実を図りました。

同じく1枚目の上から4番目でございます。ターミナル北側のあじさい通りは旧西国街道であり、そのような街道の面影に似合うデザインを施してほしいといった御意見がございましたので、計画7ページにおきまして、この対象となる当該地が旧西国街道であるという旨を追記いたしまして、地域の歴史に関する記載の充実を図りました。

続いて2枚目をご覧ください。上から3番目でございます。バスの乗降場の規模につきまして、将来需要を見据えた計画としてほしい、臨時の続行便にも対応してほしいといった意見がございましたので、計画12ページにおきまして、繁忙期における臨時便への対応や、将来需要の精査といった内容を追記いたしまして、バスターミナルの規模の検討に当たって踏まえるべき事項に関しましても記載の充実を図りました。

同じく2枚目の上から5番目でございます。旅行かばんを持ってもスムーズにたどり着ける便利なバスターミナル、バリアフリー化、わかりやすい案内板などの御意見を踏まえまして、計画15ページにおきまして、スーツケースなどを持った利用者がスムーズに駅などからアクセスできる動線の確保、わかりやすい案内サインの設置といった具体的な対応についての記載の充実を図りました。

続きまして3枚目をご覧ください。3枚目の上から1番目でございます。ホール観劇等する間の一時託児所があるとよいといった御意見を踏まえまして、計画17ページにおきまして、例えばビル内の施設利用者のための託児所などという例示を追記いたしまして、再

整備する上で考えられる子育て支援機能のイメージをわかりやすくいたしました。

また上から2番目ですが、到着場所の付帯施設としてコインロッカーを設置すべき、観光客の増加に寄与してほしい、神戸独自のお店を保護・増強させ、神戸らしい玄関口をつくってほしいといった御意見を踏まえまして、計画18ページにおきまして、バスターミナルの付帯施設にコインロッカーを追記いたしますとともに、神戸らしい商業施設に関する記載としまして、神戸限定の店舗や、ここにしかない商品展開等といった具体的な取り組みの例、また観光客の増加という視点についての追記をいたしました。

一番下でございますが、キャリーの荷物の人とホール利用者とのアクセス交錯の回避といった御意見を踏まえまして、計画21ページにおきまして、複数の機能がビル内に配置されるため、それぞれの利用者動線がスムーズに機能するよう計画を行うものとするという旨を追記いたしました。

以上の変更を行いまして、資料3-3のとおり案が取れました基本計画といたしまして、本日をもって確定させていただきますことを御報告させていただきます。

また、今後の取り組みについてでございますが、資料3-3の基本計画8ページから9ページに記載をしておりますとおり、まずは雲井通5丁目1期の事業化を目指していることとしております。具体的には22ページにも記載させていただいておりますが、市街地再開発事業、こちらを前提にそれを実施するための再開発会社の設立に向けて、地権者の皆様と協議をしながら準備を行っているところでございます。神戸市も地権者として会社に参画しながら事業化に向け取り組んでまいりたいと考えてございます。今後も引き続き地元地権者や関係支援者の皆様に配慮しながら、丁寧できめ細かな対応に務めて事業を進めてまいりたいと考えてございます。御説明は以上です。

○会長

ありがとうございました。

この2つの計画でありますけれども、前段の「えきまち空間」に関しては、意見募集を踏まえてより丁寧な展開をとということでお話がありました。2つ目のバスターミナルに関しましては、これまでの議論、意見募集を踏まえて一応事務局として本日、基本計画を策定したということでございます。

何か皆さんのほうから御感想、御意見、御質問等ありましたらお願いしたいと思っておりますけど、いかがでございますか。

○委員

最近、世界の大都市では都心の道路空間を歩行者空間化しようという流れが非常に強まっている状況にあります。例えばニューヨークのタイムズスクエアでもそうですし、ことしの秋にはロンドンの一番の繁華街のオックフォードストリートでも歩行者空間化が計画されています。

クロススクエアを核とする「えきまち空間」は、ある意味ではそういった計画とも遜

色のないぐらいの極めて大規模な構想であります。そういった意味で、市民の皆さんから大いに賛成という御意見もありますが、率直な話、本当にできるのかという御心配、御懸念があるのはごく当然のことかなと思います。パブリックコメントでも非常に多くの御意見をいただいております。そういった御懸念に対して、やはりきちんと答えていただく、これが一番大事な点かなと思います。

情報は幾ら一生懸命発信していただいても、受け手の市民の皆さん方に関心を持っていただかない限りにおきましては伝わらないわけでありまして、今回のパブリックコメントも含めまして賛成、それから反対という御意見に対してもきちんとした説明を、よりわかりやすい説明をしていただきたいと思います。これは非常に大事な点でありまして、残念ながら基本計画、きょうは策定までには至りませんでした。少し足踏み状態かもしれませんが、こうした説明のプロセスを経まして、より多くの市民の皆さんに関心を持って頂き、もっと理解を深めていただきたいと思います。内容をわかりやすいものにする努力をしていただき、引き続き基本計画策定に取り組んでいただければと思っております。

○会長

ありがとうございます。いかがでしょうか。

○委員

「えき~まち空間」に関しまして、まず、もう少しこちらの情報発信を急いでいただく必要があるのかなと思っております。私はデザインという立場でここに入っておりますので、特に景観に関して担当させていただいているわけですが、今回「えき~まち空間」のクロススクエアが図としましたら、周りは地なんですね、背景なんです。ところが今回当たり前のように景観まで基本計画に踏み込んでいただいていることは非常に重要なことだと思っております。といいますのも、景観まで踏み込んだ中でも、定性的なところはもちろんしっかり書き込んでいただいておりますし、空間のゾーンをお示しいただいている。さらには景観コントロール、概念図の形ですけども、そこまでお示しいただいた、随分踏み込んだ形でやられているということですけども、一番大事なものは、一方的なコントロールが通用しない時代ですので、先ほどありましたけれども、ニューヨークのテレビに出ているいい通りというのはやっぱり図であるスクエアと、字である建物の関係の境界部分が一番重要だと思ってるんです。

そういう点からしますと、特に神戸ではにぎわいとか解放感みたいなものがクロススクエアに求められていると思うんです。そうしますと、やはりどうやっていくかということにはエリアマネジメントの必要性もうたわわっていますけれども、もう少しそれを持続的に協議していく仕組みも必要でしょうし、やはり市民の方におわかりいただくために、もうちょっと空間図を書き込んでいく。我々専門家から見たらわかるんですけども、一般の方にはなかなかわかりにくい抽象的な絵になっているきらいもあります。そこら辺をもう少しわかりやすい絵があつて、ある意味、理解が広がりを得ないといろんなコントロール

の協議に至らないわけですので、そのあたりを急いでいただければなと思っております。

個人的な課題としては、次回に向けては定性的なイメージを強化すること、あるいは定量化していくことの是非についてみたいなところを少し検討させていただきたいと思っている次第です。以上です。

○会長

ありがとうございました。

皆様から何か御意見がございましたらお願いします。いかがでしょうか。よろしゅうございますでしょうか、皆さん。

特にこの2つの計画につきましては、改めてこの場で御意見もなさそうですので、そうしましたら「えき~まち空間」基本計画につきましては、意見募集での意見等を踏まえ、両委員のコメントも踏まえていただいて、よりよいものを作成していただくということをお願いしたいと思います。

バスターミナルの整備につきましては、本日策定されました基本計画をもとに事業化に向けた取り組みを進めていただきたいと思います。

「えき~まち空間」につきましては、割合丁寧な説明を計画サイドから市民の皆さんへしていくということでありましたけれども、一方でといいますか、同時に機動的な推進、神戸らしい先進的な都心の姿をより早く実現していくこともまたこれから必要なことでもあります。世界的な都心の構想の中で、神戸はやはりプレゼンスを発揮していくという意味でも、ぜひとも新しい集客力の核心としての姿を描いて、実現に向けて進めていただきたいと思います。ありがとうございました。

そうしましたら、その他ということになっておりますけれども、三宮で、都心で動き始めているさまざまな事案につきまして、事務局から報告をお願いしたいと思います。

(3) その他

- ・都心・三宮の再整備 最近の動きについて【報告】
- ・新中央区総合庁舎の基本設計等について【報告】
- ・新しい神戸文化ホールの整備に向けた基本計画の策定について【報告】
- ・本庁舎2号館再整備基本構想について【報告】

○都心三宮再整備課長

都心三宮再整備課長の若林でございます。

私から、資料4-1、A4ペーパー裏表のものでございますが、「都心三宮の再整備最近の動き」ということで御紹介をさせていただきたいと思います。この紹介の後に幾つか所管の方から個別に、そういった動きについての詳しい御説明も継続してさせていただきたいと思います。

またあわせてお手元の資料以外に、今日、パワーポイントで、正面のスクリーンですが、補足の絵を用意してございますので、こちらもお覧いただければと思います。

まず資料4-1でございます。表面は事業関係でございます。事業関係につきまして今から御紹介するものが6つございます。今、配置を示してございます。都心三宮という中では特に三宮周辺ですが、まず1つ目がまちなか拠点の整備です。まちなかにおきまして、こういった少しゆとりある空間といった、そこで少し佇んでみようかなというような場所を増やしていこうということで、JR元町駅東口の南側のところにつきまして、このような施設を整備していこうということで、皆さんが提案いただいた中でやらせていただく。平成30年度中に完成させたいと今、取り組んでいるところでございます。

次に②でございます。K O B Eパークレットの増設。既に三宮中央通りの辺りに3基設置させていただき、皆様にもお使いいただいているところでございますが、ちょうど神戸市立博物館の前に設置をいたしてございます。また、旧居留地の辺り、もしくは博物館などに、今日もいいお天気ですが、お越しの際は待ち合わせ場所などにお使いいただけたらなと思ってございます。

次に③でございます。葺合南54号線の延伸ということで、ネーミングについてはこれまでも御意見をいただいておりますので今後考えさせていただきますが、道路空間のリデザインということで、ちょうどここからすぐ近くですね、何度か通られた方もいらっしゃると思います。まずはスターバックスさんの辺りの部分が整備され、その南側のジョーシンの前あたりを整備させていただきました。今後はその隣も延伸していきたいという計画についても検討を深めていきたいというところですが、少しそういった道路空間のリデザインの延長が伸びておりますので、またご利用などしていただけたらなと思ってございます。

次は④です。コペリンのポート拡充でございます。こちら市民の皆様初め外来者の皆様に御利用いただいております。非常にたくさんの御利用をいただいておりますが、さらに利便性のよいものにしていきたいということで、自転車をそこで借りたり、返したりできる場所を増やしていこうということで、このたびは新しく、正面の図面にもございますが、K I I T Oのところに設置いたしたいということです。今は80台以上の自転車がございいます。今後も自転車のポートの数を増やしていきたいと考えてございます。また御利用も、多いときには1台あたり1.5回という感じで利用率が高まっているところもございいます。これからまた御利用いただきたいなと思ってございます。

次が⑤でございます。西神・山手線三宮駅のバリアフリー対策ということで、昨今、鉄道ホームにおきます安全性の向上ということで、ホーム柵の設置でございます。一般的にというか、普通では10万人以上の乗降客がいる駅につきましては順次設置をしていくことが国で定められてございます。そうした中で交通局におきましても、三宮駅につきまして、確か3月3日だと思っておりますが、こういったホーム柵を設置させていただいております。今

後も西神・山手線は順次10万人という駅にこだわらず、安全性を向上させていく方向で考えていると聞いてございます。

またあわせまして、平成30年度に三宮駅の西側コンコースの方、改札までのホームと改札を結ぶエレベーターにつきまして設置する予定にしています。そういった意味でのバリアフリーの向上に努めているところでございます。

次に⑥です。これもご覧になった、またはお聞きになったかもしれませんが、新港突堤西地区の再開発ということで、新港突堤の第1突堤の根っこのところ辺りにおきまして、文化、集客、業務、商業、また住機能等の複合的な再開発を実施するという方向で事業者が決定して、今その手続等々を進めている状況でございます。そういった意味では、ウオーターフロントにおきましても徐々に方針というか、集客性、にぎわいが高まっているというような動きがございます。

では裏面を見ていただきまして、今のは事業系でしたけど、今度は計画系ということで御説明をさせていただきます。1つ目は、都市計画マスタープラン地域別構想の策定ということで、実は既に神戸市におきましては都市計画マスタープランを策定してございますが、その中の地域別構想ということで、今日も少し御紹介もさせていただきます、また工夫させていただくという「えき~まち空間」、またこの後にも御説明させていただきますが、ちょうど市役所周辺のところを含むフラワーロード沿い、さらに先のK I I T O等ウオーターフロントエリアにつなぐという縦軸につきまして、地域別構想、三宮ウオーターフロント都心地区編を策定しようということで、今ちょうど意見募集をさせていただいているところでございます。こういった構想をつくり、すぐに具体化、それぞれの事業につなげていきたいと考えてございます。

2つ目です。都心の土地利用のあり方の検討をさせていただいております。このページ、誤植というか書き漏れがございまして、スケジュールで平成28年、29年、30年度以降とございますが、一番右、都市計画決定（順次）となっておりますが、都市計画決定等、幾つかの手続等をやっというところで、「等」という文字を入れていただけたら、これは誤植でございます。まさしく都心の土地利用のあり方につきまして、今、有識者の皆様から意見をいただいて、また神戸市のほうでもその内容について詰めていこうと考えているところでございます。

私からは以上でございまして、この後、新中央区総合庁舎の基本設計等、また新しい文化ホールの整備に向けた基本計画策定。また資料4-2にございますように、本庁舎2号館再整備基本構想につきましては、所管の方から引き続き御説明をさせていただくということで、私からは以上でございます。

○区役所庁舎建替担当課長

市民参画推進局区政振興課の担当課長の上田でございます。よろしく申し上げます。

都心三宮再整備におけます行政施設につきましては、前回の推進会議では移転等の考え

方についてお示しをさせていただいたところでございます。市民参画推進局の施設に關しまして現在の状況、あるいは主に平成30年度の取り組みについて御説明をさせていただきます。

先ほど説明のありましたバスターミナルビルの建設予定地でございます中央区役所、また勤労会館につきましては、中央区の区民まちづくり会議、あるいは勤労者福祉事業懇話会、またこれらの会議での資料を公表いたしまして意見募集を行うなど、利用者である区民、市民の皆様の御意見をいただきながら、それらを踏まえながら検討を進めてまいりました。そして現在の本庁舎3号館の場所に中央区庁舎と勤労会館の機能につきましては、新中央区総合庁舎という形で一体的に整備いたしまして、あわせてその中に、葺合文化センター、生田文化会館の機能を確保していくことを前回の会議で御説明させていただいたところでございます。

その後、新中央区総合庁舎の具体化に向けまして、引き続き区民、市民の御意見をお聞きしながら検討を進めてまいりました。特に勤労会館、葺合文化センター、生田文化会館、この3つの文化施設の持つ機能を全て1つにまとめまして、新たな文化施設ということで区役所と一体的に整備するということが、技術的には規模とか構造の面というところで難しい状況でございました。このため、いただいた御意見を踏まえまして、前のスライドにも記載させていただいている青い色の三角の部分が新中央区総合庁舎の建設予定地でございますけれども、新中央区総合庁舎につきましては、新しい中央区役所と新たに設けます文化施設の機能のうち、特に会議室、また特定目的室、これは美術室とか音楽室等いろいろな文化教室やサークル活動等に供する部屋でございます。これらから構成される施設として整備するという事にいたしました。

また加えまして、この総合庁舎の防災面、環境面、ユニバーサルデザインの配慮等基本的な視点でございますとか、あるいは、新たに設けます区役所や文化施設の基本的な機能につきましては、これまで検討してまいりましたことを踏まえまして、中央区合同庁舎の整備基本計画の素案という形で取りまとめさせていただきます。つい昨日、中央区の区民まちづくり会議に御報告をさせていただきました。また本日、勤労者福祉事業懇話会でも御説明をさせていただいているところでございます。

今後いただいた御意見を踏まえまして、基本計画の案という形で取りまとめまして、4月16日からパブリックコメントを実施いたしまして、基本計画という形で策定する予定でございます。

平成30年度におきましては、基本計画に基づきまして基本設計等を行いまして、概ね平成33年度ごろの完成を目指して取り組んでまいりたいと考えてございます。

また基本計画の素案の中では、新たに設けます文化施設のうち、総合庁舎の中には設けられない体育館、体育室の機能につきましては、今現在グラウンド、あるいはテニスコートなどスポーツ施設がございます磯上公園の中で整備すること、あるいは、ホール機能に

つきましては、神戸文化ホールの移転も計画されております新たなバスターミナルビルの中で整備することをうたっております、今後、具体化に向けた検討を行ってまいりたいと考えております。

引き続き文化ホールにつきまして、文化交流課の吉國から御説明いたします。

○文化交流課長

文化交流課の吉國と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

新しい神戸文化ホールの整備に向けました基本計画の策定でございます。本市における文化の基幹施設でございます神戸文化ホールにつきましては、築40年以上経過してございまして、老朽化が進行しており建て替えが必要な状況でございます。このため、前回のこの会議でも御説明しましたけれども、神戸市全体のにぎわいや経済の活性化、都市としての競争力強化等の観点を踏まえまして、都心三宮エリアへ移転することとしてございます。具体的には、先ほどの中にもございましたけれども、1,500席以上の大ホール機能をバスターミナルビル内に、そしてまた700～900席程度の中ホール機能を新2号館の中に配置することとしています。

前をご覧くださいますと、事業概要に記載してございますけれども、平成30年度は新しい神戸文化ホールの整備に向けまして幅広く御意見を聞きながら、ホールの機能、規模、コンセプト等について検討を行い、基本計画を策定してまいりたいと考えています。そういうことで今後の整備に向けまして取り組みをスタートさせていただきたいと思っております。

スケジュールでございますが、4月には検討委員会ということで学識経験者、これはホールの空間計画でございますとか、ホールの運営、さまざまな学識経験者でございますとか、あるいは芸術文化関係団体の代表者、それから議会からも御参画いただきまして検討委員会を設置し、5月から基本計画案の検討を行いまして、広く市民の皆様から意見募集を行いまして、10月ごろには基本計画を策定したいと考えてございます。

都市の魅力を文化の力で高める機会でございますし、芸術文化の基幹施設として役割を十分に果たせるような施設となりますように検討を進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○庁舎管理課長

行財政局庁舎管理課長の安藤と申します。

私から本庁舎2号館再整備基本構想について御報告をさせていただきたいと思っております。

お手元にお配りしております資料4-2、基本構想をご覧くださいたいと思っております。

本基本構想につきましては、その案を本年2月8日から3月7日までの間、意見公募を行いまして、いただいた御意見を踏まえまして、昨日3月29日付で基本構想を策定させていただいているところでございます。またホームページについても公表させていただいているところでございます。

本基本構想につきましては、本庁舎2号館建て替えにつきまして、建設後60年を経過し、

老朽化やバリアフリー対応など、庁舎の抱える課題をこれ以上先送りさせることなく、災害対策や市民サービスなどさまざまな機能を向上させる必要があること。また、本庁舎のある加納町6丁目が三宮周辺地区再整備基本構想の地区内にございまして、三宮駅から旧居留地やウオーターフロントへの動線上にもあり、周辺地域への人の流れをつくっていくことが求められていることから、本庁舎2号館の建て替えにおきましては庁舎のみの建て替えにとどまらず、人の流れ、回遊性を創出していけるような新たなにぎわい機能が求められているところをございます。

そのような中で、昨年6月末の神戸市役所本庁舎のあり方に関する懇話会から報告書をいただきまして、それを踏まえまして、建て替えに向け検討すべき新庁舎の姿をまとめたものでございます。

資料の1ページをお開きください。第1章では庁舎の現状、建て替えの必要性をまとめております。まず1ページ目に、庁舎に係るこれまでの経緯などを記載しております。

続きまして2ページをお開きください。2ページから6ページにつきましては、本庁舎施設としまして、1・2号館及び電気・機械室等の概要をまとめたものでございます。

続きまして7ページをお開きください。冒頭申し上げました建て替えの必要性をまとめたものでございます。

続きまして8ページをお開きください。第2章といたしまして、目指すべき新庁舎の姿をまとめております。まず、8ページから11ページにかけてでございますが、3年計画の概要として、神戸の都心の未来と将来ビジョン、三宮周辺地区の再整備基本構想、港都神戸グランドデザイン、ウオーターフロントの将来構想についてまとめてございます。

続きまして12ページをご覧いただきたいと思ひます。建て替えに係る基本方針をまとめております。まず、建設地でございますが、現在と同様に本庁舎1・2号館及び電気・機械室棟を1つの敷地といたしまして、現地建て替えを検討してまいります。

次に新2号館の整備でございますが、本庁舎機能のほか文化芸術機能に加え、魅力を創造する複合空間として高度利用を検討してまいりたいと考えて思ひます。

13ページをご覧ください。新2号館各階層の空間構成のイメージ案でございます。まず上層部、中層部でございますが、海側、山側の眺望を生かし、世界に情報発信できるような集客機能を検討していくほか、市政運営の拠点として本庁機能を検討してまいります。

次に低層部でございますが、ウオーターフロントや旧居留地への人の流れを創出するとともに、人が滞留、交流できる場や、緑と花の緑陰空間を整備し、新たなにぎわい創出のための誘客機能を検討してまいります。また、文化・芸術の拠点となり、市民や来街者が交流できるような機能を検討してまいります。

続きまして14ページをお開きください。空間構成のイメージ図（案）でございますが、建物の階層や高さ、構造の詳細につきましては今後の検討としてまいります。

次に建物規模でございますが、本庁機能、にぎわい機能をあわせ持った複合的な施設を

考慮すると、現在の1号館と同等の床面積が必要であると考えておりました、その床面積が確保できるよう検討してまいります。

また、本庁機能の規模でございますが、効率的な執行体制、事務事業の見直しなどをさらに行ってまいります。なお、およそでございますが、15,000㎡程度は必要であると考えております。

続きまして15ページをご覧ください。文化芸術発信拠点でございますが、先ほどの説明にもございましたが、空間構成のイメージでも触れたとおり、都市としての新たな魅力形成や競争力強化などの観点から、市民が気軽に文化芸術に親しみ、創造することができる場として、新2号館に700から900席程度の中ホールを整備してまいります。

続きまして16ページをお開きください。現在の1号館から4号館に熱源、電気などを供給しております電気・機械室棟がございます。新2号館の建て替えに伴い、配置図の赤枠内での建て替えを検討してまいります。

続きまして18ページをご覧ください。環境対策でございますが、神戸市地球温暖化防止実行計画や、国のエネルギー基本計画にございますZEBの考え方を踏まえた上で、省エネルギー技術の導入や再生可能エネルギーの活用につきまして、調査、検討してまいります。

続きまして22ページをお開きください。景観形成でございますが、三宮駅から続く魅力的な町並みとなりますよう、現在の地区計画などと夜間景観も含め、一体性のあるものを検討してまいります。

続きまして25ページをお開きください。その他の検討項目中、こうべ花時計でございますが、現在の2号館の竣工とともにオープンしたものでございまして、またシアトル市から寄贈されたトーテムポールの記念碑などが設置されております。2号館再整備に当たりましては、敷地全体を有効活用すべきだと考えており、これらの施設が必要となってまいります。東遊園地の再整備などと調和を保ちながらふさわしい設置場所を検討してまいります。

さらに、1号館から3号館の空調用の冷却塔でありますクーリングタワーが3号館の屋上に設置しているところでございます。3号館が新中央区総合庁舎という形で、3号館解体前にこのクーリングタワーの機能移転を実施する必要があるとございます。庁舎敷地内でクーリングタワー設置可能な敷地が花時計エリアしかないことから、本年秋ごろから休止を考えているところでございます。

続きまして26ページをお開きください。再整備の事業手法につきましては、定期借地権方式などによる公民連携手法や、民間のすぐれたノウハウの活用を図り、コスト削減により本市の財政負担の軽減を図れるよう検討を進めてまいります。

さらに平成30年度におきましては、整備する施設規模などを示した基本計画を策定、その次の平成31年度から33年度にかけて、事業手法、整備業者の選定を実施いたします。

て、その後整備工事を実施してまいります。

最後のページには参考資料といたしまして、昨年6月の神戸市役所本庁舎のあり方に関する懇話会報告書のうち、建て替えに際して望まれる機能を掲げておりますので、後ほどご覧ください。

以上で本庁舎2号館再整備基本構想の報告を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○会長

その他で御準備いただきました新しい動きについての御説明をいただいたところでございます。どうぞ皆さん、お気づきになった点、どこからでも結構ですので、御質問でももちろん結構ですので、御発言いただければと思います。いかがでございますでしょうか。

幾つかの既に動き始めている事業、それから計画についての御紹介というか、説明だったんですけども、市民生活にも直結していることも多いと思いますので、もしよろしければ、何かお気づきの点がありましたら。

○委員

この話はちょっと前の会議でお聞きしておったんですが、今の話は2号館の建て替えの話ですね。3号館はまだその話が、今日の話ではなかったと思うんですが、2号館の話でもありますので、三宮再整備の中のことはできるだけ早くスピードアップしてほしいということが前々から言われておりますので、その件についてもできるだけ早く取りかかって完成していただきたいというのが市民としての願いだろうと思います。内容について、まだはっきりと把握できてないところがあるんですけども、できるだけ早く、そして立派なものができるかなと思っております。

ただ、神戸文化ホールがなくなってしまうというのがありましたけれども、私ども兵庫区に住んでおる者ですが、文化ホールでのいろんな催しは、兵庫区の中学生や小学生の鑑賞であそこはよく使っておりましたので、その跡地に何ができるのかなと非常に興味を持っておりまして、昨日ある方とお話をした中で、あの跡地どうなるのかなということもちょっと聞かれるんですが、まだ私は聞いてないということで、その点もちょっと興味を持っております。もし何か考えがおありでしたらお聞きしたいなと思っておりますので、よろしく願います。

○会長

ありがとうございます。今、御質問があったんですけども、事務局からもし何かございましたら。

○区役所庁舎建替担当課長

先ほど御指摘がありました3号館の件でございますけれども、私の説明も至らなかった点もでございますけれども、現在の本庁舎3号館の場所に、新しい区役所と文化施設の会議室等が入ります新中央区総合庁舎を整備するという形で計画を進めています。ただ、まだ、

先ほど申し上げたとおり、今、区民まちづくり会議等でまさに御意見をお伺いして計画の素案を詰めているところでございますので、本日は御提示をすることが、お示しすることができなかつたので大変申し訳なく思っております。また、これから鋭意基本計画の策定に向けて取り組んでまいりたい、このように考えております。

○文化交流課長

文化ホールの跡地の件でございますが、率直に申し上げますと、現在のところ決まっていることはないという状況でございます。今後の活用につきましては、全市的なまちづくりでございますとか、周辺地域の活性化の観点から十分に検討していきたいと考えてございます。

新しい文化ホールが整備されるのは、早くとも平成37年度以降でございますので、それまでの間は、例えばトイレの増設とか改修とか、来館者へのサービスの向上、あるいはピアノの更新といった施設内用の充実を行って、今の機能を維持しながら活用していきたいと考えてございます。

○会長

よろしゅうございますでしょうか。

○委員

昨日、ちょうど区民まちづくり会議で、3号館のいわゆる中央区役所の跡地ですね、総合庁舎のことの説明を聞かせていただきました。そのときに出た意見ですけれども、3号館は高さ的にも下がる位置になりますので、どうしても暗いイメージがあるという話が出たんです。2号館が恐らく高層の建物になると思いますので、3号館はさらに影になるというイメージがどうしてもあります。デザイン的には、ぜひ2号館と統一したような、一体化したようなデザインをお願いしたいということと、地下道から直接2号館、3号館につながる動線、わかりやすい動線を確保していただければなとお願ひしたいと思ひます。今現在も3号館に行くのはとてもわかりにくくて、よく事情のわかつた者しか行きにくいという状況ですので、そのあたりはとても大切かと思ひております。

それと地下鉄海岸線の三宮駅から元町の大丸にかけて地下道があるんですけども、その地下道に直接地上から行くことが難しいんです。まず、三宮の大きな駐車場に入ってから、そこからまた地下道に行かないといけないという状況がありまして、この動線の確保ということであれば、そのあたりの改善をぜひお願いできればなと思ひます。

そして総合的な文化ホール、文化施設の件についてですが、生田文化会館、葺合文化センター、そして勤労の施設が全部3号館に入ることは難しいということで、磯上公園、三宮の東南の地区に新しく1つの拠点をつくっていただきたいとお願ひしてございました。それが実現しそうでとてもありがたいなと思ひているんですけども、区民のスポーツ振興について考えたときに、今現在ここの勤労の体育館、そして生田文化会館には体育館がございすが、その稼働率は97%です。それでも全く足りていない状況なので、ぜひ磯上に

できる体育施設につきましては、今以上のものが必要になると思いますので、ぜひその点はよろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。

○会長

ありがとうございました。

たくさんの御指摘をいただいたんですけれども、事務局で何かもしお答えになることがありましたら。

○区役所庁舎建替担当課長

昨日も御意見をいただきまして本当にありがとうございました。また今回、策定いたします基本計画と申しますのは、基本的な考え方を提示して今後の設計の基礎になるものがございます。いただいた御意見も盛り込んで検討するという趣旨の旨は書いていこうかと思っておりますので、その辺も踏まえて今後も議論を行ってまいります。

○文化交流課長

体育館、体育室の件でございますが、御指摘のとおり利用率の高いことは私どもも十分認識しております。昨日の中央区民まちづくり会議の中で、少なくとも今、勤労会館にある体育館及び生田文化会館にございます体育室、少なくともこれと同等規模以上のものを磯上公園内で整備する方向で検討させていただくという方向性をお示しさせていただいております。これから市民の皆さんの意見募集を踏まえて、総合庁舎の基本計画を策定していくこととなりますけれども、その中での御意見を踏まえながら体育館等につきましても今後検討してまいります。以上でございます。

○会長

よろしゅうございますでしょうか。

○道路部計画課長

すみません、1点、地下道の件。

建設局道路部計画課の原と申します。よろしくお願ひいたします。

三宮から元町への地下道の件でございます。地上からの入り口といたしまして、今真ん中あたりですね、半地下の、私ども三宮プラッツと呼んでおりますけれども、メインの入り口がございます。こちらにつきまして、今年度、設計コンペをして設計をしております、再整備を平成30年度に行つてまいります。非常にランドマークになるようなわかりやすい入り口と広場として活用できるようなものを考えておりますので、ぜひ御期待いただきたいと思ひます。

あと、地下道そのものにつきましても、やはり無機質で延長も長くてということでございます。ここのにぎわいの創出といいますか、歩いていて楽しくなるようなことは私どもの課題として考えておりました、これは検討段階ですけれども、少し手を入れていきたいなと考えておりますが、これは今後の検討課題とさせていただきます。よろしくお願ひします。

○会長

ありがとうございました。

ほかに、皆さん、何かいろいろ動きがあるんですけども。どうぞ、お願いいたします。

○委員

先ほどの文化ホールの意見とかあったんですけど、そもそも大倉山はどう考えたらいいのってことなんですね。大倉山から神戸駅、そして西元町の方は、もともと文化ホールができたときは、あそこに図書館もあって体育館もあります。大倉山は文化中心としての大倉山として文化ホールができました。今後、その中核的な文化ホールが移転するというところで、大倉山は、神戸、西元町にかけて、やっぱり地元の古い人たちは、40年来の神戸文化人というのを意識して自分の町を考えている方が結構いるので、その意識を持っていていいのというのがありまして。大倉山はそんな地域じゃなくなりますよということなのか、その辺をちょっとはっきりしておきたいなと思ひまして。

○会長

まだ動き出しているところですけども、もしコメントが事務局のほうから一言ございましたら。

○文化交流課長

先ほどのお話と重複するかもしれませんが、移転後の活用につきましては、そういった御意見も踏まえながら周辺地域の活性化といった視点を十分に踏まえながら、今後、検討していきたいと思っております。

○会長

いろんな変化が起き始めているといいますか、これからも続いていく中で、またそういう跡地利用ということだと思います。

ほかにいかがでございますか。

○委員

この計画を見ていると、三宮中心の計画、やっぱり市庁舎を動かしたり、区役所を動かしたりという。今、神戸で唯一の新幹線の乗り場って新神戸駅ですね。そこが土曜、日曜、祭日のときは車が上がれない。信号5つ、5回ぐらい通さないとできないような渋滞になっているのに、その辺をまず整備しないと。神戸の経済ってやっぱり今インバウンド頼りの部分があるのに、そこからフラワーロード、もう少し範囲を広げて計画をなさらないと、神戸の中心市街地、三宮周辺だけが土地の値段が上がって、その周りが非常に悪い状態にこれからなっていくんじゃないかというすごい懸念がありますね。

文化ホールを移動させて、またこちらにということがあるんですけど、今、神戸にホールがすごく多いんですね。完全な稼働なんかしてないんです。でも例えばAKBとかあんなんが来たら券売れますけど、一般的にクラシックとかいうのが来るといったら松方ホール。松方ホールでも券を売るのはすごく大変らしいですね。近くに私立のクラウンプラ

ザの中にもホールがありますし、そういうホールを一度全部、市役所に関係ないものは数えないというんじゃないで、1回ホールを皆見直して、本当にこれだけ新しいものを次々つくって、区役所の中にも2つホールをつくって。昨日、計画で見たんですけど。

そんなホールよりも日本にないオペラハウスのような、1つ大きくシンボルになるようなホールをポンッとつくって、人数が少なかったら音響の加減でだめになるから小さいホールと大きいホールつくったりするらしいですけど、パリのバスティーユのところに第2のオペラ座を30年前につくったときに、客席の椅子を工夫して、顧客の数にかかわらず一定の音響が保たれるようにしたんですね。だから観客が少なくても音響が一緒なんです。そういう何か今ハイテクの時代ですから、大きなホールと小さいホールを余り区別しなくてできるようなものを1つだけつくらないと。

この計画を見ますと、三宮駅にホール、区役所の中に2つホール、またどこどこ、この狭い範囲でね、国際会館もあり、ちょっと港に行ったら松方ホールがあり、山へ行ったらホテルの中にホールがあり、西に行っても県のホールもあり。だから県、市、私立の全てのホールを一度見直して、無駄なものをつくらなくて、そのお金を次の違う企画にするとか何かしていただきたいと思うんですね。

何かWi-Fi設備を町にします、こんな当たり前なんです。今Wi-Fiないとなんて生きていけない時代になってきてますから。昔、70年のエキスポのときに初めて携帯電話的なものが出て、みんな背中にリュックのように背負って、これが携帯電話だと言っている時代が今、腕時計になってきてるんですから。

この計画ができるころ、もっと先にもっと違うものになっていること、未来を見て計画がされない。一度大きな建物をつくりますと、30年、40年一緒ですよ。それができたときには、今の1号館がまた30年たちました、古くなりましたと。どうなっていくんですか、連鎖でずっと工事をしとけないといけない町になりますから。今の時代は耐震設計をきちんとしていけば100年続きますから、そのようないい建物をきちんと都市計画でしていかないと。神戸市さんの予算で、ここができた次、次できた次ことというような、年中工事をしているような未来像は描いていただきたくないんです。ぜひお願いいたします。

○会長

ありがとうございます。

厳しい御指摘だと思うんですけど、このあたりは、都市計画デザインの関係でどうですか。

○委員

今、もっともやなと思いながら聞いてたんですけど。ただ、僕、今、手元に需要予測がないんです、全く。要するにホールができて、そこが埋まるかどうかのあれがまずないんです。供給過多だとおっしゃるのもよくわかるんですけど、データがないということです。

都市デザインとしては、ホールは、昼間は開いてないんですね、基本的に。夕方から夜

開くものです。ですから、例えばシドニーのオペラハウスみたいにウオーターフロントにあったり、先ほどパリのバスティーユのオペラ座がみたいなことをおっしゃいましたけれども、ホールは町のシンボルになり得るもの、あるいは町のアイデンティティーになり得る可能性を秘めたものだとは思いますが。ただ、その可能性は十分御理解するんですけども、ただ、今回の計画では建物の中に入れちゃうということからすると、建物の形態が勝ってくることになって、ビルにラップされた形になると思うんですね、多分。それは大きなディシジョンですね、何ともよう答えにくいですけども。まちのデザインとして考えると、時間が違う施設はこういう施設にビルトインされていて、そこで時間を越えた交流がなされるというのが1つの考え方かなと思います。夕方でもその施設が明るく使われているというのは1つの大きな考え方だとは思いますが。

それとまた別にホール独自の何かというのは考え得ると思うんですけども、多分、既に御検討されていると思うんです。事前に需要予測をされてやっていることだと思しますので、決して無駄なあれだとは思わないですけど。ただ、おっしゃるとおり、さらにそれを改善した可能性があるのは確かにおっしゃるとおりです。きちんとした日本で世界級のオペラハウスをつかって、そこで逆に神戸にオペラハウスがあるから、そこに来てくれたらいいというのはないわけではない。そのときには多分、今、神戸に場所があるかという、余りないなという感じもして、港に出ていくぐらいしかないかなという。ただ、港に出ていくと夕方の夜間人口、人の交流が増えて、それもいいことかなと。やっぱり国際会館が開いているときなんかは、夜間の人のにぎわいはすごいものがありますから。そういう点では可能性はあると思うんですけど。すみません、何ともお答えになってないので。

○会長

いやいや、なかなか難しい問題を提示されたんですけども、個々の問題については恐らく事務局でもいろんな議論の中で大ホールの提案をされていると思います。この辺り、この会議でのコメントですので、ぜひとも事務局としても再度、御議論、御検討いただければと思います。

最初に、動いているのは三宮周辺だけではないかというコメントは大変重要といえますか。もともとこの会議、広域都心というところから話が始まっています、私自身は、実際にエンジンとして動くのは三宮で、どうしてもここの動きが見えるんですけども、その動きが広域の都心全体に波及していくマネジメントをどうしていくのかというのは大変重要だというふうに考えて、この会議もそのように運営されてきたと思いますので、その辺のぜひとも事務局でも。今、とりあえず動いているのはそのように見えるわけですけども、御検討いただければと思っています。ありがとうございます。

ほかにいかがでございましょうか。

経済界の御意見をいただきたいと思うんですけども、いかがでしょうか、何かお気づ

きの点がありましたら。

○委員

とにかく具体的なプランをどんどん推進していただくことが大事ですが、今の話に絡めて言えば、都心部でいろんな計画を進める上では、本当のすごい広域ではなくて、少し広域の、簡単に言うと周辺の道路や街路、こういったものに大きな影響を与えることとなります。周辺の道路・街路等の整備についても、どの時点でするかということや、事業手法の違いなどが課題であろうかと思いますがやはり十分意識して都心部の開発と時間軸をそろえてやらないといけないし、周辺で混乱が起こってもいけないと、そんなふうに思います。

バスターミナルも、集約するという事はいいことだと思うのですが、例えばそのときに2号線、あるいは東側の南北の道路、JR沿いの道路等々がどうなるかということもよく考えないといけません。

クロススクエア等々のことを考えれば、もう少し広域で工事の処理やパークアンドライド、パーキングの整備などいろんなことを考えないといけないと思います。その上で、もう少し具体的に公共事業として行うものと、企業が中心になって行うものとを、警察当局との関係も含めて結構早く詰めていかないとうまくいかないのではないかと、そんな心配をいたします。

ですから都心部のハードを主体にした整備の負担はいいですけども、それによって人の流れ、ものの流れ、情報の流れは変わるわけですから、そのあたりを意識して欲しい。それぞれの部局でということになるのかもしれませんが、タイミングをみながら、周辺地域も含めて計画していただきたいと思う次第であります。以上です。

○会長

ありがとうございます。

○委員

先日、友達と話ししとったら神戸はどうしても寂しいと言うんですね。それは震災があって、その復旧をするのにかかってきて、新たにいろんなことに対する投資ができなかったということが1つあって、今度このような形で投資をしていくということで、少しというか、にぎわいが出てくるだろうと期待をしていますし、私もそれは確信するところです。

ホテルも今、小さなホテルですけども、民間でいろんなことをやっていますけれども、その中で、行政絡みじゃなくて民意の力でどういうふうにしてお客さんの、来神されるお客さんの心をつかんでいくんやということも、要は官にいろんなことを言うだけじゃなくて、自分たちで行動せないかん場面もあるだろうと思っています。

今、言われたとおり、この前たまたま僕、新神戸のANAクラウンに行ったんですが、あのOPAが全部アウトですね。あれはやっぱり所有者に任せるだけではなくて、ちょっ

と物を言うていかんとどうにもならんなと思いながら。飲食店街は動いてるんですけど、そのほかのフロアは全部閉まってるとか、そんなことがあるのであれば、少しまた手助けをせんとなかなか難しいかなと思いながらうろうろとこの前、歩いていました。

全体の人口が150万都市ですので、それに見合う文化施設とかホール、域外からお客さんを来さそうと思えば、やっぱり行ってみたいと思う内容を企画しないといけませんから、そんなコーディネーターが要るのかなというふうに思ったりしています。

取りとめのない話ですが、感想的にはそんなことをしているということです。どうぞよろしく願いいたします。

○会長

ありがとうございました。

そろそろ時間が来たんですけれども、何かこれだけは発言しておこうということがございましたら、挙手いただけましたら。いかかでございますか。よろしゅうございますでしょうか。

そうしましたら皆さんのコメントを聞いていただいていたかがでしょうか。

○委員

今日、こうして順番に御説明いただくと、いかに多くのプロジェクトが計画されているかということのを改めて認識できるわけですけれども、当然、庁内では相互に調整されているとは思いますが、どうしてもそれぞれのプロジェクトがバラバラな印象を受けます。それぞれのプロジェクトの存在意義というのは大いに主張していただいて結構なんですけど、それが寄り集まって、全体として神戸の都心でどういう機能を生み出し、発揮していくのかというところが一番大事なのかなと感じました。こういうふうに関係者の皆さんが一同に会して、議論する場をつくっていただくというのは非常に結構なことでありますし、各プロジェクトを連携させて、全体をいかにコーディネートしていくのかということを示して頂くことが非常に大事なかなと思います。

それから、やはり土地利用と交通の連携が非常に大事でして、今日は割合と土地利用のお話が多かったですが、三宮都心地区でのクロススクエアを軸とした歩行空間の計画、それから公共交通の計画、自転車空間の整備もあります。こういった交通の計画は各々の土地利用を結びつける働きをするものであり、先ほど交通、道路は大丈夫かという御指摘もあったのですけれども、土地利用と交通との関係ももう一度見直して、地域全体として整合性のとれた整備計画をぜひとも考えていただきたいと思います。

○会長

ありがとうございました。

○委員

先ほどいただいたことをずっと考えているんですけれども、やっぱり今、おっしゃったように、個々のプロジェクトは動いているんですけれども、都市戦略というか、都市戦略

上のビジョンが要るんでしょうね。そうでないと多分ここがあるのでここにつくるよとなっちゃうんですよ。オペラハウスを持ってくるというのは、1つの都市の大きなビジョンなので、そっちがない限り多分、動いていかないと思いますね。ですから、個々のプロジェクトにおいては個々のプロジェクトのビジョンは大事だと思うんです、もちろん。個々の目標から達成しないといけないと思うんですけれども、1つはそれをもう一回都市の全体のビジョンに落としていただいて、神戸の都市像としてどうなっていくのかということの把握の上で進めていかないと、今、オペラハウスの話が来たときにポテッとこける。僕がさっきこけてましたから。答えられないというこけ方をしましたから、そのときに1つのビジョンがあったらいいかなと思うんですね。

それとやはり先ほどおっしゃったように、さまざまなものが動いている、最後、結局景観として空間像としてあらわれているときに、結局は協議というか、調整の上での連携があって初めて景観になりますので、建物の単体は建物の単体ですので、複数の建物があって景観になっていきますから、それらの連携というのは、それぞれの部署の連携も。だから、ビジョンを掲げていただくビジョンの集約と個々の連携というのは、両方同じことなんですけど必要かなと思いました。

○会長

ありがとうございました。

次世代の都市像はなかなか難しいところで、世界中で今、議論されたり、交流があったりということだと思うんです。しかし一言といいますか、できれば新しいものをどんどん生み出していく限りには、そこに組み込まれていて、それを求めてといいますか、魅力で人々が集まってくるという、そういう構造をどうつくっていくのかということに尽きるのではないかと。イノベーションという言葉が我々には大好きですけど、やはりそこに尽きるかなという気がいたします。

厳しくホールは本当に必要かという指摘もあったんですけれども、空間としてのホールというのは、それほど魅力ではないというか、市民の皆さんの利用率が高いということもあると思うんですけれども、むしろそれが都心の議論の中で新しいものをどんどん生み出していくということとどう結びついているのか、どういうふうにならされているのかということが大事なのではないかという気がするんです。両委員がおっしゃったのがやはりそういうことだろうと思います。

あるいは図書館もここで新たにつくられると。この下に図書館があるので言いにくいですが、もはや本だけ置いてある図書館というのは、この神戸の一番重要な都心に必要かという怒られますけれども。御存じだと思いますけれども、ニューヨークの巨大な図書館は、起業の要の役割を果たしていて、あそこに行けば無料で様々な起業に関するレクチャーを受けたり、文献を見たり、情報収集したりということが出来る。そこからたくさんの方のビジネスが生み出されてきたと言われておりますけれども、ここで大学が三宮に集ま

ったりという構図もつくられている。そういうものとどのように連携しながら、新しいものを生み出す構図をここで作り上げていくのかということが恐らく問われているのではないのかという気がいたします。

ぜひとも丁寧にこれからも作っていかれるということがありますので、その辺も御配慮のうえ、お願いしたいと思います。

本日は1時間半という短時間でしたけれども、密度の濃い御議論をいただきまして誠にありがとうございます。

それでは事務局お願いいたします。

○都心三宮再整備担当部長

加藤会長、委員の皆様、大変貴重な御意見ありがとうございました。

なお、本日伺えなかった御意見につきましては、指定の用紙、ファクス、Eメール、何でも結構でございますので、またよろしくお願いいたします。

「えき~まち空間」基本計画につきましては、よりよいものとなるよう策定に向けて引き続き検討を重ねてまいります。

新バスターミナルの整備につきましては、本日策定した基本計画に基づき、事業化に向けてスピード感をもって進めてまいります。

次回の推進会議の開催は、また決定次第お知らせいたします。

それでは最後に、住宅都市局計画部長の三島より御挨拶させていただきます。

○計画部長

住宅都市局計画部長の三島でございます。

本日はお忙しい中、また朝早くから御参加いただき、また貴重な御意見をいただきまして本当にありがとうございます。

神戸の未来の姿、将来ビジョン並びに三宮周辺地区再整備基本構想につきましては、平成27年9月に策定させていただきました。その後、実現に向けてということで、この会議でも議論をさせていただいております。今回3回目になっております。

将来ビジョンでは夢を語るということで、期間については述べておりませんが、三宮周辺地区再整備基本構想は概ね30年を見据えてということで策定しております。策定当時、本日も御意見をいただきましたが、やはり30年ということで、早くやりなさいということ非常にたくさん言われております。そういうことでは30年を目標にはしておりません。まさしくできるものからやっていくということを考えております。

その中で、本日新たなバスターミナルの基本計画並びに「えき~まち空間」については現在の状況と、行政施設の方針を含めた都心三宮再整備の最近の動きを御説明させていただきました。三宮再整備につきましては、具体的な事業並びに計画についてお話できる段階に来たのかなと思っております。本日いただいた御意見でさらにスピードアップをしていかなければならないと思っております。

その中で「えき~まち空間」の基本計画につきましては、一步立ちどまる形になりますが、より丁寧に情報を発信していくことが、やはり最終的にはそれが早期の整備につながるのではないかと考えておりました、本日説明したような対応をさせていただいています。

また本日、三宮周辺だけではなく、新神戸エリアも含めた都心全体という言葉をお伺いいたしました。またそれぞれが相互に関連して全体として連携していかなければならないということについても御意見をいただきました。これについては、やはり私たちも課題として認識して、それをどう進めていくかということをしっかり考えていきたいと思っております。まさしくこの会議は三宮だけではなく、都心三宮という形でございます。都心の未来の姿、将来ビジョンでは、神戸の都心を日々の刺激と物語の生まれる美しき港町神戸にしていくんだというコンセプトをあげています。御指摘がありました都市戦略ということでは、日々の刺激と物語が生まれるということをどうしていくのかということは今後考えていかなければならない。その点を今後、この会議でも御意見をいただきながら進めていきたいと思っております。

今年度、当初も申し上げましたように組織強化を図ります。本部体制として、本部長は医療・新産業推進本部の者が兼務する形になります。そういうことでまさしく戦略的なものと、今回私たちが進めている事業を連携してやっていこうという組織強化でございます。本日いただいた御意見を踏まえて、さらにスピードアップして、中身を充実しながら進めていきたいと考えてございます。

今後、私たちは、三宮だけではなくて、都心の再整備に向けてさらに努力していきたいと思っております。よりよいものにしていきたいと思っておりますので、委員の皆様におかれましては、今後とも御指導をいただくよう、お願いを申し上げます、最後の御挨拶とさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

○都心三宮再整備担当部長

ありがとうございました。

次回以降もよろしくお願いいたします。委員の皆様方、どうもありがとうございました。